

# ひらくじづかん

HIRATSUKA CITY MUSEUM VOL 6 NO 1 1981. 4. 1  
平塚市博物館 TNO 60



## ヒバリの歌を聞きながら

—3月28日・土曜観察会—

毎月2回の土曜観察会、この日は旭の水田で鳥や植物の観察をしました。帰りのバスの中でみんなに感想を聞いてみると、

—今日、観察した中で、何が面白かった?

「ヒバリが鳴きながら、のぼって、おりてくるところが面白かった。」

「ばくげきでやられたように、急に落ちてくるんだよね。」

「田んぼの泥の上に鳥の足あとがあったのが面白かった。」

「タシギの足あともあったんだよ。くちばしをつっこんだあとも。」

—大人の人にも聞いてみましょう。何か印象に残ったことがありますか?

「私はね、春先の田んぼにこんなに鳥がいるとは思わなかつたし、足あとからも鳥の種類がわかるなんて初めて知りました。」

「同じ田んぼでも水をはった所と、草の生えている所で、それぞれ、すむ鳥が違うということがよくわかりました。水のある所にはタカブシギのように、くちばしがとがって足の長い鳥とか、それぞの場所にあった鳥がいるわけですね。そうした鳥たちが、楽しくするように、いろいろな自然を残せば、私たち人間と豊かに暮らせるんじゃないかなと思いました。」

土曜観察会は、「カラスのねぐら」「カマキリのたまご」など、毎回小さなテーマで自然観察を行っています。

土曜の午後のひとときを、野山を歩いて過ごしてみませんか!

## ● デザン教室作品展をみて！

特展室でデザン教室に参加して、感動せられました。

何日間も集中して書き続けたけど、エネルギーが会場に満ちています。

力の結晶なんだと言つこと  
が良くわかりました。  
せひ二度ください。



4月28日まで／(A.H)

## ● 星を見る会「惑星を見よう」

今回は、金目公民館で木星と土星を観察します。参加希望の方は御自由に、当日直接公民館にお集まりください。

(雨天・曇天でも会は行います。)

○日時：5月15日(金) 午後6時～8時  
○場所：金目公民館  
○申込み：自由参加

## ● 天文情報コーナー

- プラネタリウム原画展 / 4月1日～4月28日  
「ギリシャ神話の巨人たち—ゼウスの誕生」  
プラネタリウム室の横の天文情報コーナーに、  
プラネタリウム投影で使われているスライドの原  
画を展示します。  
○4月2日より、4月28日まで。

先日、NHK放送センターを見学する機会があり、若いカップルや親子連れでぎわう見学コースを歩いてみた。

通路のパネルは「シルクロード」と「おんな太  
閑記」のスチール写真が美しく並ぶ。まさしく中  
国と日本の歴史や考古学コーナーの感じである。

しかし、東漢墓から発掘された夫婦合葬の仲睦  
まじく手を握りあって横たわるミイラのスチール  
には、佐久間良子の美しさが負けている。

ともあれ、未知への興味とロマンを求める人間  
の夢が、ブラシや竹べらを持参で野尻湖に集まる。

調査の方法はともかく、湖底に眠る埋蔵遺物と  
の出会いは楽しい体験ともいえる。(てい)

## 5月の行事

### ● ツバメを調べよう — 調査協力者募集 —

平塚にすんでいるツバメの種類と巣の数などをみんなで調べてみたいと思います。

各自、1km四方の区域を分担し、ツバメの巣の位置を調べます。

- 打合せ：5月2日(土) 午後2時～4時
- 調査：5月3日～31日の間に、各自都合のよい日に、1～2日間、調査。
- まとめ：6月6日(土) 午後2時～4時
- 申し込み：往復ハガキで4月25日まで。

(小学校4年生以下は、父兄が調査を手伝ってくださる方。)



### ● 体験学習 / 5月3 「草木遊び」

古くから伝わっている草や木を使った遊びを体験してみます。

- 日時：5月12日(火) 午前9時30分～11時30分
- 場所：金目周辺
- 定員：20名
- 申し込み：5月2日までに往復ハガキで。

### ● 体験学習 / 5月2 「タコを作ろう」

- 日時：4月19日(日) 午前9時30分～午後4時
- 申し込み：4月8日までに往復ハガキで。
- 定員：20名(応募多数の時は抽選)

- 対象：小学校5年生以上。

### ● 石仏を調べる会

市内の石仏を調べて歩きます。5月から一年をおして行います。ふるってご参加ください。

- 募集人員：20名

- 日時：毎月第2・4土曜、午後2時～4時
- 年間計画説明：5月9日(土) 午後2時～4時。於博物館講堂
- 申し込み：4月25日までに往復ハガキで。



虫めがね

中国にいまちょっとした「ミイラブーム」が起きているそうである。

つい先日楼蘭で発見された約六千四百年前の美少女のミイラをはじめ、二十歳前後の女性ミイラも約三千二百年前のものという。

これらが、北京の自然博物館や天津市の博物館で四月一日から同時公開されることにあるらしい。

## 新年度をむかえて

博物館長 佐藤重雄

市民のあらゆるかたがたから親しまれ協力をいたしております。博物館は、来月(五月)で開館以来五年を迎えることができました。まだおりません。この存知のとおり、平塚市博物館は「相模川流域の自然と文化」をテーマとする、総合博物館であります。したがいまして、その領域も民俗、歴史、考古、生物、地質、天文、美術と広い分野にわたるとともに調査研究してきた結果や、寄贈された貴重な資料から、新しい発見も得られました。

そこで「生活に関連のあるもの、生活に導入できるもの」を中心に、現在の常設展示を一部展示替えいたします。展示替えは、例えば地域の地質、地層から地盤分析を行ない、大規模地震が発生した場合、どの程度の影響があり得るかなども、七月からは情報提供できる予定です。ともあれ、生涯学習のための施設として、「生きた博物館運営」を今年も目ざしてまいります。

## ●体験学習No.52 「タコを作ろう」

平塚周辺では5月の節供にタコあげをしました。  
今回は角タコを作りてあげてみます。  
日時：4月19日（日）9時30分～16時  
申し込み：4月8日までに往復ハガキで  
定員：20名（応募多數の時は抽選）  
対象：小学校5年生以上とします。

## ●星を見る会 「木星、土星を見よう」

木星と土星を観察します。  
日時：4月11日（土）午後6時～8時  
(メ切りました)

## ●古文書講読会会員募集

近世地方文書を読む会です。5月から3月まで、一年をとおして読み方を勉強します。ふるってご参加ください。  
募集人員 先着30名（高校生以上一般）  
時間：毎月第1・3土曜日 午後2時～4時  
場所：博物館講堂  
応募方法 往復はがきに住所・氏名・年令・職業を記入の上博物館宛へ  
応募期間 3月16日から4月15日まで

## ●自然観察会 「干潟の渡り鳥」

4月26日（日）雨天中止 9時～4時

場所：相模川河口

申し込み 4月10日までに往復ハガキで。多數の時は抽選で40名まで。

## ●土曜観察会

（毎月第2・4土曜日、14時～17時）

野外で動植物の観察をする会。参加希望者は、返信用切手同封のうえ封書で申し込んでください。  
参加案内を送ります。

## 55年度 利用状況

- 全入館者数 ----- 99650人
- 団体見学 ----- 377件・19761人
- 観察 ----- 64件・726人

## ●「デッサン教室作品展」

市民のアトリエに参加している生徒の皆さん、作品をご紹介いたします。  
会期：4月2日（水）～4月28日（日）  
会場：特別展示室



## ●寄贈品コーナー 56年4月～5月

博物館に寄贈された資料の中から、4月、5月は車大工の道具と炭焼きの写真を紹介します。車大工の道具は市内虹ヶ浜の内田武弘氏から寄贈されたものです。内田氏は昭和32年頃まで現在の宮松町で荷車、牛車、轍などの柄を作っていました。炭焼きの写真・原木・炭は平塚ロータリークラブが昨年の11月22日に炭焼きをした時のものです。